

会報

通常総会議事報告

社団法人 溶接学会 第72回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成16年4月22日(木) 10:00 ~ 11:30

場所 (財)日本教育会館会議室 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2

平成15年度事業報告及び会務報告 (平成15年3月1日 至平成16年2月29日)

平成15年度において本会は次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会

1.1 春季全国大会

平成15年4月23日～25日 三省堂文化会館(東京)

研究発表講演 120件, 特別講演 1件, シンポジウム(講演10件), フォーラム(講演9件), 若手会員のためのフォーラム(講演2件), 特別セッション「NEDOプロジェクト中間成果報告(6件)」

参加者 延約1,000名

1.2 秋季全国大会

平成15年10月7日～9日 大阪大学コンベンションセンター(大阪)

研究発表講演 201件, 特別講演 1件, 論文賞受賞講演 2件, フォーラム(講演6件), 技術セッション(講演5件), ワークショップ(講演5件), 若手会員のためのイブニングフォーラム, カタログ展示・ビデオコーナー(カタログ出展27社, ビデオ3社)

参加者 延約1,500名

2. 講習会

2.1 平成15年度溶接工学夏季大学(第52回)「製造現場で役立つ溶接技術とその新しい展開－高信頼化, 低コストを目指して－」

会期 平成15年7月1～3日

会場 大阪科学技術センター(大阪)

受講者 39名

2.2 平成15年度溶接技術基礎講座(第31回)

会期 平成15年6月12日, 13日

会場 科学技術館(東京)

受講者 46名

2.3 平成15年度工業高校教員のための溶接工学夏期講座(第40回)

会期 平成15年8月6日, 8日, 9日

会場 新日本製鐵(株)技術開発本部

赤星工業(株)

(株)宮地鐵工所

三井造船(株)

日本大学生産工学部

3. 刊行

3.1 溶接学会誌72巻2号～73巻1号(8冊)

主な内容 資料等68篇, データシート7件, 展望1篇

3.2 溶接学会論文集21巻2号～22巻1号(4冊)

主な内容 研究論文71篇

3.3 全国大会講演概要集 第72集および第73集(2冊)

3.4 平成15年度溶接工学夏季大学教材「製造現場で役立つ溶接技術とその新しい展開－高信頼化, 低コストを目指して－」

3.5 Mate 2004 9th Symposium on “Microjoining and Assembly Technology in Electronics”(マイクロ接合研究委員会)

3.6 JWS Bulletin 15 溶接冶金研究の進歩と今後の展望(溶接冶金研究委員会)

3.7 溶接法ガイドブック5 溶接プロセスの高効率化(溶接法研究委員会)

3.8 ステンレス鋼の溶接施工管理の基礎と実際－失敗事例に学ぶこれからのステンレス鋼の溶接施工と管理－

3.9 溶接学会会員名簿(平成14・15年度)

4. 研究活動

4.1 研究推進部会(小林紘二郎部会長)

2回の会合を開催し, 各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに研究委員会の活性化を図るとともに, アドホック研究会が2件成果報告, 特別研究会1件が終了し, 特別研究会1件が発足, 4件のミニ研究会の発足を理事会に提案した。

(1) 平成15年春季及び秋季大会のフォーラムを開催した。

春季全国大会「疲労強度改善スマートマテリアル『低変態温度材料』の効果と適正」(溶接疲労強度研究委会)

秋季全国大会「半導体レーザー・未来・加工－半導体レーザー加工の現状と展開」(高エネルギービーム加工研究委員会)

(2) 建築鉄骨溶接特別研究委員会(中込忠男主査)が活動を終了した。

(3) 特別研究会「摩擦攪拌接合の高度化」(野城 清主査)

年4回の研究集会を行い, 最新の情報を交換した。研究対象はアルミニウムおよびアルミニウム合金に限らず, マグネシウム, 銅, あるいは, 異材接合まで広げ, 微細組織の変化や強度との関係, ツールや試料の温度測定, ツールの磨耗等に関する理解を深めた。

また, プロセスに関しても, 摩擦肉盛法, マイクロFSW, スポットFSW, 摩擦攪拌成形, 摩擦攪拌プロセスによる結晶粒微細化等などの最新の技術に関して今後の発展性について検討した。

(4) アドホック研究会

2つのアドホック研究会「高張力鋼のHAZ軟化とその強度特性」(望月正人主査)および「高張力鋼の強度的不均質を持つ溶接継手の破壊靱性評価」(南二三吉主査)が活動した。

微細粒高強度超鉄鋼材料などでは、溶接に伴う熱影響部（HAZ）において粗粒化に伴う軟化は避けられず、この溶接 HAZ 軟化部の継手強度特性および破壊特性などへの実用安全性能上の限界を明確にするために、軟化部の幅と軟化の程度（軟化度）および溶接金属の強度特性が実用溶接継手性能に及ぼす影響について、溶接力学及び溶接継手破壊分野の専門家により、既往の研究成果の整理結果をもとに、強度的不均質継手における応力・ひずみ場の有効破壊支配パラメータを一部解析的手法を用いながら抽出し、整理結果との整合性を検討して、新たな評価手法のための課題の抽出を行った。

具体的には、

- (1) 高張力鋼の HAZ 軟化とその強度特性に関する課題（望月正人主査）

強度的不均質継手における応力・ひずみ場の有効強度支配パラメータを解析的手法を用いながら抽出し、実験結果との整合性を検討、調査した。

- (2) 高張力鋼の強度的不均質を持つ溶接継手の破壊靱性評価に関する課題（南二三吉主査，大畑充幹事）

強度的不均質継手における応力・ひずみ場の有効破壊支配パラメータを抽出し、既往の成果との整合性を検討、調査した。

4.2 溶接構造研究委員会（南二三吉委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 158回	15. 3. 7	東 京	33	研究報告 5 件
第 159回	15. 4. 22	東 京	22	研究報告 6 件（日韓共同セミナー）
第 160回	15. 7. 18	大 阪	51	研究報告 5 件
第 161回	15.11.14	愛 媛	35	研究報告 6 件
第 162回	16. 1. 26	東 京	33	研究報告 5 件

4.3 溶接法研究委員会（大嶋健司委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 182回	15. 5. 7	東 京	42	研究報告 7 件
第 183回	15. 8. 6- 7	大 阪	55, 49	研究報告 12 件
第 184回	15.11.19-20	大 阪	34, 42	研究報告 9 件，見学会
第 185回	16. 2. 4- 5	東 京	32, 33	研究報告 12 件

4.4 溶接冶金研究委員会（西本和俊委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 172回	15. 5. 21	東 京	26	研究報告 4 件
第 173回	15. 8. 19-20	新 潟	19, 20	研究報告 7 件，見学会
第 174回	15.11.25	東 京	95	冶金シンポジウム
第 175回	16. 2. 3- 4	東 京	28, 32	研究報告 13 件

4.5 溶接疲労強度研究委員会（三木千壽委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 197回	15. 4. 17	東 京	33	研究報告 5 件
第 198回	15. 6. 10	東 京	33	研究報告 5 件
第 199回	15.11.18	千 葉	18	研究報告 2 件，見学会
第 200回	16. 1. 30	東 京	92	研究報告 5 件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（阿部信行委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 43 回	15. 6. 17	東 京	22	研究報告 6 件
第 44 回	15.10.28	大 阪	22	研究報告 6 件
第 45 回	16. 2. 21	東 京	32	研究報告 6 件

4.7 軽構造接合加工研究委員会（前川仁委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 61 回	15. 6. 9	東 京	50	研究報告 6 件
第 62 回	15. 9. 11	大 阪	40	研究報告 4 件，見学会
第 63 回	15.11.10	東 京	58	研究報告 7 件
第 64 回	16. 1. 22	東 京	42	研究報告 7 件

4.8 溶接アーク物理研究委員会（平岡和雄委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 150回	15. 5. 28	東 京	28	研究報告 5 件，勉強会 1 件
第 151回	15. 8. 6- 7	大 阪	55, 49	研究報告 12 件
セミナー	15.11.26	東 京	100	第150回記念セミナー
第 152回	15.11.27	東 京	27	研究報告 5 件
第 153回	16. 1. 29	東 京	24	研究報告 4 件

4.9 マイクロ接合研究委員会（高橋康夫委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 71 回	15. 5. 23	東 京	78	研究報告 7 件
第 72 回	15. 9. 19	東 京	60	研究報告 7 件
第 73 回	15.12.10	大 阪	58	研究報告 6 件
シンポジウム	16. 2. 5- 6	横 浜	609	Mate 2004シンポジウム
第 35 回 分 科 会	15. 7. 3	東 京	84	研究報告 8 件
第 36 回 分 科 会	15.10.24	東 京	131	研究報告 7 件
シンポジウム	16. 2. 5- 6	横 浜	609	Mate 2004シンポジウム

4.10 界面接合研究委員会（池内建二委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 63 回	15. 5. 30	東 京	26	研究報告 5 件，特別講演 1 件
第 64 回	15. 9. 26	東 京	25	研究報告 6 件，特別講演 1 件
第 65 回	16. 1. 23	東 京	29	研究報告 6 件

5. 国内活動

5.1 日本溶接会議（JIW）の活動援助を行った。

5.2 共催，協賛，その他（承認順）

日本学術会議接合工学専門委員会，金属工学研究連絡委員会，材料研究連絡委員会，造船研究連絡委員会，構造工学研究連絡委員会，生産学術連合会，日本工学会，電子情報技術産業協会，日本技術者教育認定機構等の活動に協力した。

他の団体からの協賛等依頼（承認順）

- (1) 協賛：第11回核融合炉材料国際会議組織委員会「第11回核融合炉材料国際会議」（15.12.07～12）
- (2) 協賛：レーザ加工学会「第58回レーザ加工学会」（H15.3.13～14）
- (3) 協賛：日本機械学会「第11回機械材料・材料加工技術講習会（M&P 2003）」（H15.10.17～18）
- (4) 共催：第47回日本学術会議材料研究連合講演会（世話学会：日本材料学会）「第47回日本学術会議材料研究連合講演会」（10.29～30）
- (5) 協賛：NIMS 超鉄鋼研究センター「第7 回超鉄鋼ワークショップ」（06.24～26）
- (6) 賛助：高温学会「Int. Conf. on New Frontiers of Process

Science & Engineering in Advanced Materials (PSE'04)」
(H16.11.24～26)

- (7) 協賛：腐食防食協会「第140回腐食防食シンポジウム－寿命予測技術の現状と問題点」(04.25)
- (8) 共催：エコデザイン学会連合「EcoDesign 2003: Third Int. Symp. on Environmentally Conscious Design & inverse Manufacturing」(2003.12.08～11)
- (9) 協賛：日本高圧力技術協会「第13回圧力設備の材料，設計，施工，維持管理」(東京：6.12～13，大阪：11.13～14)
- (10) 共催：日本学術会議第5部・創成加工工学専門委員会・設計工学専門委員会「シンポジウム：21世紀におけるものづくりのシステムデザイン」(05.06)
- (11) 委員派遣依頼：日本技術者教育認定機構 (JABEE) 機械及び機械関連分野審査委員会：座古勝理事
- (12) 協賛：腐食防食協会「第141回腐食防食シンポジウム－物理方式水処理装置の評価試験方法 (スチール制御)」(06.27)
- (13) 協賛：日本材料学会「第33回初心者のための有限要素法講習会」(07.24～28)
- (14) 協賛：日本材料学会「第11回破壊力学シンポジウム」(10.02-03)
- (15) 協賛：腐食防食協会「第32回セミナー，腐食を理解するための電気化学入門」(07.03)
- (16) 協賛：日本時計学会「2003年時計学会春季研究会」(06.27)
- (17) 協賛：電子情報技術産業協会「JISSOP / PROTECフォーラム2003」(05.14～16)
- (18) 協賛：自動車技術会「第1回全日本フォーミュラ大会」(09.10～09.12)
- (19) 協賛：日本鉄鋼協会「超鉄鋼で築く21世紀」(05.28)
- (20) 協賛：日本塑性加工学会「第54回塑性加工連合講演会」(11.06-08)
- (21) 後援：日本溶接協会「第31回原子力国内シンポジウム，原子力発電設備の損傷事例と健全評価」(07.17)
- (22) 協賛：日本高圧力技術協会「HPI 技術セミナー，第2回圧力機器及び配管におけるガスケットフランジ締結体のシーリングテクノロジー」(08.29～29)
- (23) 協賛：日本材料学会「第1回初心者のための疲労設計講習会」(11.05～06)
- (24) 後援：溶接接合工学振興会「第14回セミナー，溶接変形防止と組立制度向上に関する新しい取り組み」(10.21)
- (25) 協賛：日本材料学会「第2回フラクトグラフィ講習会」(11.26～27)
- (26) 第45回 (平成16年度) 本多記念賞・第25回研究奨励賞受賞候補者依頼
- (27) 後援：軽金属溶接構造協会「アルミニウムブレージングセミナー」(10.23)
- (28) 協賛：強化プラスチック協会「48th FRP CO - NEX 2003 講演会」(10.28～29)
- (29) 協賛：腐食防食協会「第33回セミナー，エレクトロニクス材料・部品の腐食とその対策」(09.04)
- (30) 協賛：配管技術研究協会「第1回講習会，管路の流れに起因するトラブルとその未然防止」(09.12)
- (31) 協賛：レーザ加工学会「第59回レーザ加工研究会」
- (32) 協賛：生産学術連合会「第7回生産学術連合会議」(11.28) 共催分担金 2万円
- (33) 協賛：大阪大学接合科学研究所「International Symposium on

Novel Materials Processing by Advanced Electromagnetic Energy Sources (先進的電磁エネルギーによる材料プロセッシングに関する国際シンポジウム)」(H16.03.19～22)

- (34) 協賛：エレクトロニクス実装学会「第13回マイクロエレクトロニクスシンポジウム (MES2003)」(10.16～17)
- (35) 協賛：レーザ協会「第27回 レーザー協会セミナー，レーザ加工2003 新しい適用をめざして」(11.07)
- (36) 協賛：日本鉄鋼協会「セミナー，技術者のための鉄鋼材料入門」(07.18)
- (37) 協賛：非破壊検査工業会・日本能率協会「非破壊評価総合展2003」(11.04～07)
- (38) 協賛：日本材料学会「第26回材料講習会」(9月)
- (39) 協賛：日本材料学会「第23回疲労講座」(12月)
- (40) 協賛：未踏科学技術協会「第15回傾斜機能材料シンポジウム」(11.20～21)
- (41) 後援：日本溶接協会「失敗に学ステンレス鋼の溶接」
- (42) 協賛：日本高圧力技術協会「セミナー，リスクマネージメントの基礎と応用」(10.07)
- (43) 協賛：日本材料学会「第41回高温強度シンポジウム」(07.14)
- (44) 協賛：日本金属学会「シンポジウム，核融合炉高効率ブランケット機器・材料システム統合」(10.31)
- (45) 協賛：日本高圧力技術協会「第13回圧力設備の材料，設計，施工，維持管理」(11.13～14)
- (46) 協賛：日本機械学会「第13回設計工学・システム部門講演会」(10.30～11.01)
- (47) 協賛：日本溶接協会「原子力構造機器の材料，設計，施工，検査，維持に関する講習会」(11.27～28)
- (48) 協賛：腐食防食協会「大気腐食促進試験法の現状と課題」(10.17)
- (49) 協賛：日本高圧力技術協会「事故から学リスクマネージメント」(12.09)
- (50) 協賛：「第12回溶射総合討論会」(11.13)
- (51) 協賛：日本時計学会「2003周期マイクロメカトロニクス学術講演会」(09.10)
- (52) 協賛：日本非破壊検査協会「第14回アコーステック・エミッション総合コンファレンス」(11.18)
- (53) 協賛：日本ガスタービン「ガスタービン複合発電の最新技術と分散電源への展望」(11.22.23)
- (54) 協賛：腐食防食協会「第29回腐食防食入門講習会」(12.03-04)
- (55) 協賛：日本材料学会「第40回X線材料強度に関する討論会」(12.05)
- (56) 協賛：日本材料学会「分子動力学講座」(11.05～07)
- (57) 協賛：日本材料学会「第33回 FRP シンポジウム」(04.03.17～19)
- (58) 協賛：日本材料学会「高分子系複合材料のリサイクルと環境適合設計技術」(12.03～04)
- (59) 協賛：日本材料学会「第9回機械・構造物の強度設計，安全性評価に関するシンポジウム」(04.01.29～30)
- (60) 協賛：腐食防食協会「第143回腐食防食シンポジウム」(12.12)
- (61) 協賛：日本高圧力技術協会「第4回エネルギー貯槽等技術基準と安全性」(04.02.05～06)
- (62) 委員推薦 竹本理事 エコデザイン学会連合運営協議会
- (63) 協賛：日本非破壊検査協会「セミナー，維持基準と欠陥評価」(12.02)

- (64) 協賛：日本機械学会「最適設計の原理と製品開発への応用」(10.28)
- (65) 後援：日本溶接協会「ガス・プラズマ・レーザ切断加工講習会」(04.02.18)
- (66) 後援：日本溶接協会「第32回原子力国内シンポジウム：原子力発電設備の非破壊検査技術と認証システム」(04.02.05)
- (67) 協賛：画像センシング技術研究会「第10回画像センシングシンポジウム」(04.06~11)
- (68) 協賛：日本溶接協会「レーザ溶接の適用と各種材料のレーザ溶接性」(04.01.27~28)
- (69) 協賛：日本塑性加工学会「第35回塑性加工春季講演会」(04.05.21~23)
- (70) 協賛：腐食防食協会「第34回技術セミナー」(04.02.20)
- (71) 協賛：日本鉄鋼協会「セミナー、技術者のための鉄鋼材料入門」(11.27, 12.02)
- (72) 共催：日本学術会議「第34回安全工学シンポジウム」(04.07.08~09)
分担金（2万円） 実行委員推薦：西本学術理事
- (73) 共催：日本アイソトープ協会「第41回理工学における同位元素・放射線研究発表会」(04.07)
分担金（3,000）円 運営委員推薦：西本学術理事
- (74) 協賛：日本時計学会「2003時計学会秋季研究会」(11.14)
- (75) 協賛：溶接接合工学会振興会「特別講演」(11.26)
- (76) 協賛：日本鉄鋼協会「第53・54回白石記念講座」(04.01.30, 02.06)
- (77) 後援：軽金属溶接構造協会「シンポジウム、アルミニウム合金製鉄道車両構造の革新と接合技術の役割」(04.04.20)
- (78) 共同主催：第42回原子力総合シンポジウム運営委員会「第42回原子力総合シンポジウム」(04.05)
分担金（1万円） 運営委員：西本学術理事
- (79) 協賛：日本金属学会「セミナー、材料強化設計の基礎と応用—マイクロからマスク路スケールまでの高強・高靱性材料開発への展開を目指して」(04.03.29)
- (80) 協賛：LPM 2004組織委員会「第5回レーザ精密微細加工国際会議」(04.05.11~14)
- (81) 協賛：日本鉄鋼協会「異業種交流セミナー、材料と機能シリーズ、金属材料の極限機能追求と材料加工技術の進歩」(04.02.13)
- (82) 共催・協賛：日本接着学会「創立40周年記念第42回年次大会」(04.07.27~28)
- (83) 協賛：日本材料学会「第9回分子動力学シンポジウム」(04.05.14)
- (84) 後援：日本溶接協会「第11回溶接の研究講習会」(04.02.24)
- (85) 共催：日本学術会議材料工学研究連絡委員会「第48回材料研究連合会」(04)
- (86) 協賛：日本鋼構造協会「鋼橋の動的耐震設計と耐震性能向上」(04.02)
- (87) 協賛：日本非破壊検査協会：「第4回放射線による非破壊評価シンポジウム」(04.02.5~6)
- (88) 協賛：日本非破壊検査協会：「第11回超音波による非破壊評価シンポジウム」(04.02.26~27)
- (89) 協賛：日本非破壊検査協会：「表面探傷技術による健全性診断に関するシンポジウム」(04.01.15~16)
- (90) 協賛：日本非破壊検査協会：「第35回ひずみ測定と強度浄化シンポジウム」(04.01.20)

- (91) 協賛：日本鉄鋼協会：「第180・181回西山記念技術講座」(04.06.11, 07.02)
- (92) 後援：日本溶接協会：「ステンレス鋼溶接せこくにおけるトラブル事例とその原因・対策」(04.03.04)
- (93) 協賛：日本顕微鏡学会「第14回電子顕微鏡学会（初心者向け電顕技術セミナー）」(04.19~20)
- (94) 協賛：日本材料学会「第39回X線材料強度に関するシンポジウム」(09.)
- (95) 協賛：日本時計学会「2004春季マイクロメカトロニクス学術講演会」(03.23)
- (96) 協賛：日本鋼構造協会「第12回鋼構造シンポジウム」(11.25~26)

5.3 金属関係学協会連絡委員会に参加して各種連絡を行った。

5.4 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本建築学会	建築雑誌
軽金属溶接構造協会	軽金属溶接	〃	Journal of Asian Architecture and
高温学会	高温学会誌		Building Engineering
高圧ガス保安協会	高圧ガス	日本高圧力技術協会	圧力技術
電気学会	電気学会誌	日本鋼構造協会	JSSC
電気製鋼研究会	電気製鋼	日本接着学会	日本接着学会誌
土木学会	土木学会誌	日本造船学会	TECHNO MARINE
〃	土木学会論文集	〃	造船学会論文集
日本海事協会	日本海事協会誌	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
日本機械学会	日本機械学会誌	〃	ふえらむ
日本橋梁建設協会	虹橋	〃	ISIJ International
日本金属学会	まてりあ	日本非破壊検査協会	非破壊検査
日本溶射協会	溶射	日本溶接協会	溶接技術

6. 国際活動

6.1 国際溶接学会（IIW）関連

- ① IIW の活動を支援して年間を通じ IIW の日常活動及び年次大会（第57回）（ルーマニア国ブカレスト）に参加した。参加者は40カ国605名、日本からは79名（含同伴者）。

また、2004年7月開催のIIW年次大会（第58回、大阪）準備を支援した。

6.2 次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Research	オーストラリア
2 Revista Soldadura	アルゼンチン
3 Schweiss- & Prufung Technik	オーストリア
4 Reveu de la Soudure - Lastijdschrift	ベルギー
5 Leurotest Technical Bulletin	〃
6 Metalurgia	ブラジル
7 Revista da Soldagem	〃
8 Soldagem & Inspeccao	〃
9 Canadian Welder & Fabricator	カナダ
10 Zvaranie	チェコ
11 Welding News	〃
12 Hitsaustekniikka Svetsteknik	フィンランド
13 Soudage et Techniques Connexes	フランス
14 Bulletin Singanaletique	〃
15 Sciaky	〃
16 Schweissen und Schneiden	ドイツ
17 Schweissttechnik	〃
18 Wissenschaftliche Zeitschrift	〃

19 Indian Welding Journal	インド
20 Journal of the Association of Engineers	〃
21 Rivista Italiana della saldatura	イタリア
22 Korean Scientific Abstracts	韓国
23 大韓金属学会誌 (Journal of KMM)	〃
24 大韓熔接学会誌	〃
25 Metals and Materials	〃
26 Korean Welding Society	
27 Lastechnik	オランダ
28 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド
29 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃
30 Polish Engineering	〃
31 Tecnologia Qualidade	ポルトガル
32 Buletin IPI	ルーマニア
33 Serie de Metalurgia	〃
34 Sudura	〃
35 Revista de Metallurgia	スペイン
36 Revista de Soldadura	〃
37 Soldadura y Tecnologias de Union	〃
38 Svetsaren	スウェーデン
39 Schweisstechnik Soudure	スイス
40 Welding & Metal Fabrication	英国
41 Welding Review	〃
42 Metals Technology	〃
43 Welding International	〃
44 Welding Journal	米国
45 Welding Research Abroad	〃
46 WRC Bulletin	〃
47 CA Selects (Ceramic Materials)	〃
48 Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ
49 Strength of materials	〃
50 All - Union Monthly of Engineering Physics	〃
51 Zavarivac	スロベニア
52 Varilna Tehnika	〃
53 Science in China	中国
54 地質学報	〃
55 金属学報	〃
56 鋼 鉄	〃
57 Transactions of the China Welding Institution	〃
58 冶金分析	〃
59 材料科学	〃
60 China Welding	〃

II. 会 務 報 告

1. 第71回通常総会

日 時 平成15年 4 月24日 (木) 09時30分開会 11時00分閉会
場 所 三省堂文化会館8F大研修室
出席者 理 事 20名 (うち 8 名は評議員と兼任)
評議員 34名 委任状 70名 合計 116 名 (総数 161 名)

議 事

- | | |
|--------------------|----|
| ① 平成14年度事業及び会務報告の件 | 承認 |
| ② 平成14年度収支決算報告の件 | 〃 |
| ③ 監査報告 | 〃 |

- | | |
|----------------------------|----|
| ④ 平成15年度事業計画の件 | 可決 |
| ⑤ 平成15年度収支予算の件 | 〃 |
| ⑥ 名誉員推薦 | |
| 須清修造君, 町田 進君, 池淵浩介君 | |
| ⑦ 表彰 | |
| イ. 溶接学会功績賞 (1 件) | |
| 藤盛紀明君 | |
| ロ. 溶接学会貢献賞 (1 件) | |
| 恩澤忠男君 | |
| ハ. 溶接学会業績賞 (2 件) | |
| 竹本 正君, 松山欽一君 | |
| ニ. 佐々木賞 (3 件) | |
| 杉谷祐司君, 藍田 勲君, 高野元太君 | |
| ホ. 田中亀久人賞 | |
| 小林和行君, 山田 実君, 手島秋雄君, | |
| 西村善仁君 | |
| ヘ. 溶接学会論文賞 (2 件) | |
| ① 中村照美, 平岡和雄, 高橋誠, 佐々木智章 | |
| ② 金鍾珉, 安田清和, 藤本公三, | |
| ト. 溶接学会論文奨励賞 (3 件) | |
| 劉 六法, 木村真晃, 寺崎秀紀 | |
| チ. 溶接学術振興賞 (2 件) | |
| 大嶋健司君 (東部支部), 山本英幸君 (関西支部) | |
| リ. 妹島賞 (1 件) | |
| 中山 繁君, 武市正次君, 瀬渡 賢君, | |
| 山角 覚君 | |
| ヌ. 溶接学会研究発表賞 (10名) | |
| 春季全国大会 (4 件) | |
| 西坂太志君, 吉川暢広君, 伊藤礼輔君, | |
| 山本元道君 | |
| 秋季全国大会 (6 名) | |
| 山本剛史君, 島田雅之君, 小川剛史君, | |
| 森田一郎君, 両角克之君, 白井秀彰君 | |
| ル. 溶接学会シンポジウム賞 | |
| ①Mate 2003 優秀論文賞 (2 件) | |
| 寺崎健君, 大村智之君, 中塚哲也君, | |
| 高野信英君 | |
| 浜野寿之君, 植木義貴君, 中筋威, 藤本公三君 | |
| ②Mate 2003 研究奨励賞 (1 件) | |
| 金鍾珉君 | |
| ③構造シンポジウム 2002 | |
| シンポジウム賞 (優秀論文賞) (3 件) | |
| 高木周作君, 寺崎聡君, 津崎兼彰君, | |
| 井上忠信君, 南二三吉君 | |
| 孕石泰丈君, 岩崎正美君, 阿部英嗣君, | |
| 田川哲哉君, 宮田隆司君 | |
| 西本和俊君, 才田一幸君, 鄭譜永君 | |
| ヲ. 溶接学会奨学賞 (17件) | |
| 北海道支部: 齋藤繁君 | |
| 東北支部: 荻部勲君 | |
| 東部支部: 稲垣洋平君, 入江俊幸君, 大谷有吾君 | |
| 東海支部: 竹上弘章君, 宮田渉君 | |
| 関西支部: 伊藤豪彦君, 川端ユキ君, 山本孝志君, | |
| 柳川博人君, 酒谷茂昭君, 田中宗嗣君 | |
| 四国支部: 渡邊亮平君, 吉川穂高君 | |

九州支部：山口寛一君，ONG CHIN WEI 君

- ⑧ 溶接学会記念基金その他の寄付の受け入れ状況及び活用状況の報告

2. 評議員会

日 時 平成15年 4 月23日（水）17:00 開会 18:00 開会
場 所 三省堂文化会館 2F 第2研修室
出席者 7 名，委任状 72名，合計 79名（総員 149名）
議 事

- | | |
|--------------------|----|
| ① 平成14年度事業及び会務報告の件 | 承認 |
| ② 平成14年度収支決算報告の件 | 〃 |
| ③ 監査報告 | 〃 |
| ④ 平成15年度事業計画の件 | 〃 |
| ⑤ 平成15年度収支予算の件 | 〃 |

3. 理事会（定例7回）

本年度の主な議題・決議事項

(1) 溶接学会活性化について

学会の活性化に向けて，企画委員会を中心に，将来展望と活動目標を検討する「MeRIT-21 ビジョン：21世紀における溶接研究・技術の将来展望と溶接学会ビジョン」を作成し，会勢増強，学会構成員の評価向上，活動資金獲得，溶接（高度）技術者教育，支部との連携のあり方，賛助会員へのサービスのあり方，などに重点を絞った検討を進め，溶接学会フェロー，シニア会員制度等逐次実行に移した。

(2) 財政改善について

逼迫した財政状態改善のために，人件費，事務費の節減，会誌印刷費のコスト低減など支出を引き締めるとともに，講習会，広告料など会費外収入の増加を図り逐次実行に移した。

(3) 会勢の拡張について

正員の増強，学生に対する啓発及びサービス活動の強化，そして財源の安定化と学会活動の浸透を図った。

(4) 特別研究活動の推進について

研究推進部会の提案に基づいて，特別研究会の設置及び活動の推進について審議し，特別研究会「建築鉄骨溶接」が活動し，また，「摩擦撚拌接合の高度化」を本年度発足させ，ミニ研究会4件の次年度発足を理事会に提案し承認を受け，アドホック特別研究会2件を継続させた。（前掲）

4. 業務委員会活動

4.1 企画委員会（宮田隆司委員長）

学会の活性化に向けて，将来展望と活動目標を検討する「MeRIT-21ビジョン：21世紀における溶接研究・技術の展望と溶接学会ビジョン」を作成し，会勢増強，学会構成員の評価向上，活動資金獲得，溶接（高度）技術者教育，支部との連携のあり方，賛助会員へのサービスのあり方，などに重点を絞った検討を進め，逐次実行に移した。

4.2 論文査読・審査委員会（西本和俊委員長）

年度内6回の定例委員会を開催し，投稿論文の査読及び掲載可否決定の審査を実施した。

インターネット利用による，論文査読・審査システムを実施した。

4.3 全国大会運営委員会（粉川博之委員長）

- 年度内4回の委員会を開催し，平成15年度春季・秋季全国大会および平成16年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- 講演概要集第72集および第73集を編集発行した。
- 平成15年度秋季および平成16年度春季全国大会プログラ

ムを編成した。

- 全国大会研究発表講演の「溶接学会研究発表賞」審査を平成15年度春季及び秋季大会にて実施した。
- 春季大会にて産業界の有識者による特別講演を実施した。
- 国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-ELS）に全国大会講演概要集の創刊号からの参加を実施した。
- 科学技術情報発信・総合流通システム（J-Stage）を利用した，インターネットによる全国大会研究発表・原稿提出・J-Stageにて公開を実施した。

4.4 編集委員会（南二三吉委員長）

年度内6回の委員会及び分野別担当者会議を，また，電子化及び共同編集英文誌に伴う諸規定を検討するため2回のWGを，それぞれ開催し，溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集並びにそれぞれの刊行に関する業務を実行した。科学技術情報発信・流通総合システムへの溶接学会論文集の参加，及び国立情報学研究所の電子図書館サービスへの溶接学会誌及び溶接学会論文集の創刊号から参加することを実施した。

4.5 国際交流委員会（野村博一委員長）

- 国際交流の在り方，国際戦略について検討した。
- 海外名誉員，推薦会員（Guest Member）について検討した。
- 日米，日韓，及びベトナム等学術交流協定に基づいた協力事項を検討した。
- 各国からの依頼事項，照会事項を処理した。

4.6 科学研究費委員会（豊田政男委員長）

文部省科学研究費分科細目の変更に係る問題の検討及び科学研究費の申請に係る事項を処理した。

4.7 溶接用語委員会（松縄朗委員長）

- IJW 第6委員会と合同で1回の委員会を開催し，IIW 第VI委員会の活動を支援した。
- 溶接用語集（和英対訳）の刊行を目的として，IIW 溶接用語，JIS 溶接用語など内外溶接用語の集録，検討を行った。
- 日本溶接協会規格委員会，JIS 溶接用語改訂準備委員会の活動に協力した。

4.8 文献資料委員会

- IIW における溶接関係文献アブストラクト交換業務が停止されており，本会における同アブストラクトの作成及びIIW 各 International Documentation Centers への送付を引き続き停止した。なお，IIW においては，本委員会関連事項は第VI委員会（用語）で検討されることになった。シソーラスの改訂も同VI委員会で検討される。

4.9 溶接教育委員会（沓名宗春委員長）

- 年度内1回の委員会を開催し，学会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- 視聴覚教材の製作について検討した。
- 平成15年度溶接技術基礎講座を開催した。（前掲）
- 平成15年度溶接工学夏季大学を開催した。（前掲）
- 第40回工業高校教員のための溶接工学夏期講座を検討した。（前掲）
- IIW 第XIV等と連絡し，各国と溶接教育について情報を交換した。

2004 年大阪大会で IIW XIV 委員会主催の「溶接要員の教育訓練，認証の進歩」国際会議について準備を検討し

た。

- (7) 連続講座（基礎分野）及び溶接・接合セミナー（トピックステクニなもの）について企画を検討した。
- (8) IIW スキーム対応教師用教材（OHP 等）の利用について検討した。
- (9) 日本技術者教育認定機構（JABEE）の活動に協力した。
- (10) 日本工学会の PDE 協議会（「社会人の専門職業能力開発・維持調査研究委員会」）及び CPD 委員会（「技術者生涯教育システム調査委員会」）の活動に協力した。

5. 若手会員の会（森裕章委員長）

5.1 若手会員のためのフォーラム（共催：（財）溶接接合工学振興会）

- (1) 春季全国大会フォーラム，懇親会
主 題：未来産業と溶接について
日 時：平成15年 4 月24日（木）17：30～19：50
場 所：（株）三省堂文化会館（春季全国大会開催会場）
溶接学会全国大会 第 4 会場
参加者：30名
- (2) 秋季全国大会フォーラム
主 題：若手講演者の研究紹介と若手会員の交流会
日 時：平成15年10月 8 日（木）17：00～19：00
場 所：銀杏会館 3 階 大会議室
（大阪大学（秋季全国大会開催会場）内）
参加者：60名

5.2 若手会員のためのセミナー・勉強会

- (1) 勉強会
主 題：最適化の手法と適用
日 時：平成15年10月22日（木）11：00～17：00
場 所：大阪大学 先端科学技術共同研究センター
会議室
参加者：24名
- (2) 見学会
主 題：川崎重工業（株）ガスタービン・ジェットエンジン製造施設の見学
日 時：平成15年10月30日（木）13：30～16：30
場 所：川崎重工業（株）
ガスタービン・機械カンパニー
ガスタービン開発センター（同社 明石工場）
参加者：18名
- (3) 秋季セミナー（第 5 回溶接基礎セミナー）
主 題：これから溶接・接合を学ぶ人のための溶接法基礎講座
日 時：平成15年11月21日（金）11：00～17：00
場 所：札幌コンベンションセンター
参加者：29名

5.3 広報および情報交換

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集のページ」に，国際会議への参加や海外渡航に関する特集記事，若手研究者による研究活動報告等を掲載した。
- (2) ホームページに活動報告，行事案内等を掲載した。
- (3) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進した。
登録者数 約 182 名（平成16年 2 月現在）
E-mail 投稿数 約 119 通（平成15年 3 月 1 日から平成16年 2 月29日まで）

5.4 若手会員の会運営委員会（森裕章委員長）

臨時運営委員会を含めて計 3 回の運営委員会を開催し，活動方針と企画について審議した．とくに第30回臨時運営委員会では次年度以降の運営委員と幹事を決定した．

・第28回運営委員会

日 時：平成15年 4 月24日（金）12：30～13：30
場 所：（株）三省堂文化会館（春季全国大会開催会場）
8 階会議室

出 席：21名（在籍45名）

・第29回運営委員会

日 時：平成15年10月 8 日（木）12：30～13：30
場 所：銀杏会館 3 階 大会議室
（大阪大学（秋季全国大会開催会場）内）

出 席：17名（在籍45名）

なお，運営委員間の協議用として，運営委員メーリングリスト（u-welnet）経由での E-mail の活用によって定例運営委員会のみではフォローしきれない連絡および議論を進めた。

6. その他の諸会合

支部長会議	2
財務理事会	2
総務理事会	2
名誉員推薦審査委員会	1
特別員選考委員会	1
溶接学会貢献賞授賞審査委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞授賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
妹島賞授賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞審査委員会	2
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	2
溶接学会ベストオーサー賞	1

7. 会 勢

会員数（平成16年 2 月末現在）

賛助員		団 体 員	個 人 会 員					合 計
会員数	口 数		名誉員	特別員	推薦会員	正 員	学生員	
415	1,049	59	33	70	11	3,093	215	3,422

会員の移動

種 別	賛 助 員		正 員	学 生 員	団 体 員
	会員数	口 数			
15年度初在籍数	429	1,089	3,171	218	62
入 会	10	32	107	55	2
退 会	24	67	205	35	5
口 数 増	(0)	0	-----	-----	-----
変 更 減	(4)	5	-----	-----	-----
資 格 増	-----	-----	23	0	-----
変 更 減	-----	-----	* 3	23	-----
計	415	** 1,049	** 3,093	** 215	59

*：特別員へ移行（3 名）

**：退会保留及び減口保留中のものを整理（正員2 名）